

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和04年01月06日

計画の名称	清水南部・静清浄化センター汚泥処理共同化事業（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	静岡市												
計画の目標	近接する汚泥処理施設を統合することで、効率的な事業運営を目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,838	A	1,838	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値	最終目標値 (R4末)
1	下水道施設の改築に要する費用を0.5億円縮減するために、清水南部浄化センターと静清浄化センターの汚泥処理を集約する。			
	実施率	0%	%	100%
	事業が進捗した割合			

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—
しずおか水ビジョンに基づき実施される要素事業：A07-001～A07-003												

A 基幹事業																					
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
		種別	種別	対象	間接							H30	H31	R02	R03	R04					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
下水道事業	A07-001	下水道	一般	静岡市	直接	静岡市	終末処 理場	新設	清水南部・静岡浄化セン ター送受泥施設建設工事	送受泥施設、送泥管（φ150 ×2条 L=1.3km）建設等	静岡市	■	■				1,745		—		
		下水道広域化推進総合事業																			
	A07-002	下水道	一般	静岡市	直接	静岡市	終末処 理場	—	効率的な事業実施のため の基本的な計画策定等	清水南部浄化センター汚泥処 理施設の解体設計	静岡市			■			20		—		
下水道広域化推進総合事業																					
A07-003	下水道	一般	静岡市	直接	静岡市	終末処 理場	—	清水南部浄化センター汚 泥処理施設移設・解体工 事	汚泥濃縮設備、汚泥脱水設備 の移設・解体	静岡市					■	73		—			
											下水道広域化推進総合事業										
											小計						1,838				
											合計						1,838				

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	H31	R02	R03	
配分額 (a)	439	520	10	0	
計画別流用増△減額 (b)	45	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	484	520	10	0	
前年度からの繰越額 (d)	0	389	0	0	
支払済額 (e)	94	909	10	0	
翌年度繰越額 (f)	389	0	0	0	
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	1	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0.2	0	0	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 清水南部・静清浄化センター汚泥処理共同化事業（重点計画）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 1) 上位計画と適合している。 ・上位計画（静岡市第3次総合計画）	○
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 2) 静岡水ビジョンと適合している。	○
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 3) 関連する他事業の計画と適合している。 ・奥駿河湾流域別下水道整備総合計画	○
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 4) 各種事業計画が策定され、適合している。 ・静岡市下水道総合地震対策整備計画	○
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 5) 各種法令（下水道法等）を遵守している。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 地域の課題と整備計画の目標の整合が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性 ①整備計画の目標と定量式指標の整合性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ①整備計画の目標と定量式指標の整合性 2) 目標と指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ①整備計画の目標と定量式指標の整合性 3) 目標と指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ②事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。（事業執行により、計画書掲載指標を代表とし効果が得られる。）	○
III. 計画の実現可能性 ①円滑な事業執行の環境 1) 長期的収支計画の見通しが健全と判断される。	○
III. 計画の実現可能性 ①円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための市民等合意形成が図られている。 ・静岡市上下水道事業経営懇話会の開催、パブリックコメントの実施	○